

Ⅲ 数値目標
--------

項目	現状	目標
周産期死亡率 (直近3年間平均)	福井 3.4 (R4) 全国 3.3 (R4)	全国平均以下
新生児死亡率 (直近3年間平均)	福井 1.5 (R4) 全国 0.8 (R4)	全国平均以下
乳児死亡率 (直近3年間平均)	福井 2.5 (R4) 全国 1.8 (R4)	全国平均以下
災害時小児周産期リエゾンが ミーティング実施や防災訓練に 参加した回数	0回/年	1回/年以上
産後1か月時点での産後うつの ハイリスク者の割合	福井 7.7% (R4) 全国 9.9% (R4)	全国平均以下

※「周産期死亡率、新生児死亡率および乳児死亡率」については、医療的な原因ではない不慮の事故などによる死亡も含まれており、単年度だけで評価することは難しいため、直近3年間の平均で評価することとします。

※本計画に定める施策の進捗状況などについては、周産期医療協議会に報告し、評価を行うこととします。

周産期の医療体制構築に係る指標

区分	指標 (●:重点指標)	現状(R5)			数値目標	
		福井県	全国	時点		
低リスク分鏡	ストラクチャー指標 産後ケアを実施する施設数 【県調査】	宿泊型:11か所 デイサービス型:23か所 アウトリーチ型:21か所	全国データなし	令和5年10月時点	-	
	プロセス指標 産後訪問指導を受けた割合 【地域保健・健康増進事業報告】	新生児(未熟児除く):43.5 未熟児:46.1	新生児(未熟児を除く):228.8 未熟児:49.9	令和3年 被訪問指導実 員数÷出生数 ×1000	-	
	アウトカム指標 妊婦健診取扱施設(分娩取扱医療機関を除く。)での健診率 【県調査】	16.4%	全国データなし	令和5年調査	-	
	産後1か月時点での産後うつ のハイリスク者の割合 【こども家庭庁母子保健課調査】	7.7%	9.9%	令和4年調査	全国平均以下	
地域周産期母子医療センター 低リスク分鏡	ストラクチャー指標	産科医および産婦人科医の数 【医師・歯科医師・薬剤師統計】	81人 (15~49歳女性人口10万人対:58.0)	11,678人 (15~49歳女性人口10万人対:46.7)	令和2年調査	-
		分娩取扱施設に勤務する産科医および産婦人科医の数 【医療施設調査】	病院:59.1人 (15~49歳女性人口10万人対:42.3) 一般診療所:10.8人 (15~49歳女性人口10万人対:7.7)	病院:6,756.5人 (15~49歳女性人口10万人対:27.0) 一般診療所:2,175.9人 (15~49歳女性人口10万人対:8.7)	令和2年調査	-
		日本周産期・新生児医学会専門医数(母体・胎児専門医数) 【日本周産期・新生児医学会HP】	12人 (人口10万人対:1.61)	1,412人 (人口10万人対:1.15)	令和6年 2月時点 (全国は令和4 年7月時点)	-
		助産師数(常勤換算) 【医療施設調査、衛生行政報告例】	病院勤務:165人 (15~49歳女性人口10万人対:118.2) 一般診療所勤務:20.1人 (15~49歳女性人口10万人対:14.4)	病院勤務:18,821.1人 (15~49歳女性人口10万人対:75.3) 一般診療所勤務:6,262.8人 (15~49歳女性人口10万人対:25.1)	令和2年調査	-
		アドバンス助産師数 【日本助産評価機構HP】	55人 (人口10万人対:7.4)	8,951人 (人口10万人対:7.3)	令和5年時点	-
		新生児集中ケア認定看護師数 【日本看護協会HP】	3人 (人口10万人対:0.4)	415人 (人口10万人対:0.3)	令和5年 3月時点	-
		分娩を取扱う産科または産婦人科病院数 【医療施設調査】	9か所 (15~49歳女性人口10万人対:6.4)	963か所 (15~49歳女性人口10万人対:3.9)	令和2年調査	-
		分娩を取扱う産科または産婦人科診療所数 【医療施設調査】	7か所 (15~49歳女性人口10万人対:5.0)	1,107か所 (15~49歳女性人口10万人対:4.4)	令和2年調査	-
		分娩を取扱う助産所数 【衛生行政報告例】	2か所 (15~49歳女性人口10万人対:1.4)	341か所 (15~49歳女性人口10万人対:1.4)	令和3年 3月時点	-
		ハイリスク妊産婦連携指導科1・2 届出医療機関数 【社会医療診療行為別統計】	4か所	1,024か所	令和4年 3月時点	-
プロセス指標	出生率(千人対) 【人口動態調査】	6.6	6.3	令和4年調査	-	
	合計特殊出生率 【人口動態調査】	1.50	1.26	令和4年調査	-	
	低出生体重児出生率 【人口動態調査】	男:7.3 女:10.1 合計:8.7	男:8.3 女:10.6 合計:9.4	令和4年調査	-	

第5章 5 疾病・6 事業・在宅医療の医療提供体制の構築（6 事業 第2節 周産期医療）

区分	指標 (●:重点指標)	現状(R5)			数値目標
		福井県	全国	時点	
地域周産期母子医療センター 低リスク分娩 アウトカム指標	● 分娩数(帝王切開件数を含む。) (※15～49歳女性人口10万人当たり) 【医療施設調査】	病院(10万人対):192.7 診療所(10万人対):129.7	病院(10万人対):152.4 診療所(10万人対):127.4	令和2年調査	-
	● 新生児聴覚スクリーニングの実施率 【こども家庭庁母子保健課調査】	98.5%	全国データなし	令和4年調査	-
	● 新生児死亡率(出生千対) 【人口動態調査】	1.2	0.8	令和4年調査	全国平均以下 (直近3か年平均)
	● 周産期死亡率(出産千対) 【人口動態調査】	2.9	3.3	令和4年調査	全国平均以下 (直近3か年平均)
	● 乳児死亡率(出生千対) 【人口動態調査】	1.9	1.8	令和4年調査	全国平均以下 (直近3か年平均)
● 妊産婦死亡数・死亡原因 【人口動態調査】	0名	33名 主な死亡原因:産科的塞栓症、 分娩後出血 等	令和4年調査	-	
地域周産期母子医療センター ストラクチャー指標	院内助産や助産師外来を行っている周産期母子医療センター数 【周産期医療体制調査】	院内助産:0か所 助産師外来:3か所 (15～49歳女性人口10万人対:2.1)	院内助産:134か所 (15～49歳女性人口10万人対:0.5) 助産師外来:289か所 (15～49歳女性人口10万人対:1.2)	令和5年調査 (全国は令和4年調査)	-
	NICUを有する病院数・病床数 【医療施設調査、人口動態調査】	病院数:7 (出産千対:1.3) 病床数:32 (出産千対:6.0)	病院数:352 (出産千対:0.4) 病床数:3,394 (出産千対:4.0)	令和2年調査	-
	NICU専任医師数 【周産期医療体制調査】	専任常勤医師数:9人 (人口10万人対:1.2) 専任非常勤医師数(常勤換算):14人 (人口10万人対:1.9)	専任常勤医師数:1,827人 (人口10万人対:1.5) 専任非常勤医師数(常勤換算):2,046.1人 (人口10万人対:1.7)	令和3年調査	-
	GCUを有する病院数・病床数 【医療施設調査、人口動態調査】	病院数:7 (出産千対:1.3) 病床数:34 (出産千対:6.4)	病院数:299 (出産千対:0.4) 病床数:4,090 (出産千対:4.9)	令和2年調査	-
	MFICUを有する病院数・病床数 【医療施設調査、人口動態調査】	病院数:2 (出産千対:0.4) 病床数:9 (出産千対:1.7)	病院数:131 (出産千対:0.2) 病床数:867 (出産千対:1.0)	令和2年調査	-
	ハイリスク分娩管理加算届出医療機関数 【診療報酬施設基準】	8か所	750か所	令和4年 3月時点	-
	業務継続計策定医療機関数・策定割合(総合周産期母子医療センター) 【県調査】	策定医療機関数:2 100%	全国データなし	令和6年 2月時点	-
	NICU入院児の退院支援を専任で行う者が配置されている周産期母子医療センター数 【周産期医療体制調査】	3か所 (15～49歳女性人口10万人対:2.1)	200か所 (15～49歳女性人口10万人対:0.8)	令和5年 1月時点	-
	● 災害時小児周産期リエゾン任命者数 【県調査】	12名	852名	令和6年 2月時点 (全国は令和5年1月時点)	-
	プロセス指標	周産期母子医療センターで取り扱う分娩数 【周産期医療体制調査】	2,663人 (15～49歳女性人口10万人対:1,907.5)	204,798人 (15～49歳女性人口10万人対:819.3)	令和3年調査
NICU入室児数 【医療施設調査】		247人 (出生千対:46.5)	72,530人 (出生千対:86.3)	令和2年調査	-

第5章 5 疾病・6 事業・在宅医療の医療提供体制の構築（6 事業 第2節 周産期医療）

区分	指標 (●:重点指標)	現状(R5)			数値目標	
		福井県	全国	時点		
総合 地域周産期母子医療センター	プロセス指標	NICU・GCU長期入院児数	0人	全国平均:6.5人	令和3年調査	-
		【周産期医療体制調査】 妊産婦の居住する市町村の母子保健事業について、妊産婦に個別に情報提供を行っている周産期母子医療センター数	7か所 (15～49歳女性人口10万人対:5.0)	323か所 (15～49歳女性人口10万人対:1.3)	令和5年1月時点	-
		●母体・新生児搬送数・都道府県内搬送率 ※周産期母子医療Cに受け入れられた母体及び新生児それぞれの搬送受入総数	母体搬送数:84 県内母体搬送率:5.0 新生児搬送数:36 県内新生児搬送率:5.0	母体搬送数:24,227 県内母体搬送率(平均):7.3 新生児搬送数:13,332 県内新生児搬送率(平均):6.9	令和3年調査	-
		●母体・新生児搬送数のうち受入困難事例の件数 ※周産期母子医療Cが受け入れることのできなかった母体及び新生児それぞれの搬送件数	母体搬送:7 新生児搬送:1	母体搬送:4,451 新生児搬送:1,136	令和3年調査	-
		災害時小児周産期リエゾンがミーティング実施や防災訓練に参加した回数	0回/年	全国データなし	令和5年時点	1回以上/年
療養・療育 支援	ストラクチャー指標	乳幼児、小児の在宅医療を行う医療機関数	0か所	85か所 (都道府県数:18)	令和2年調査	-
		【福祉行政報告】 NICU長期入院児等が自宅に退院する前に、家族が在宅ケアを行うための手技習得や環境の整備をする期間を設けるための病床を設置している周産期母子医療センター数	4か所 (出生千対:0.8)	273か所 (出生千対:0.4)	令和5年1月時点	-
	プロセス指標	退院支援を受けたNICU・GCU入院児数	25人	全国データなし	令和3年調査	-
	アウトカム指標	●NICU・GCU長期入院児数(再掲)	0人	全国平均:6.5人	令和3年調査	-